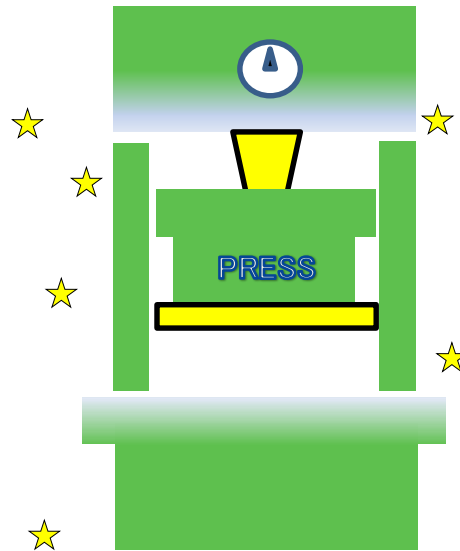


お客様

預かり整備のご提案

お使いのプレス機の寿命を延長させる為に・・・



目次

1. 日本のプレス機械の販売実績

日鍛工加盟プレスメーカー
全体の過去販売実績

2. 日本のプレス機メーカーのサービスの現状

人手不足はここでも

3. 故障率曲線(バスタブ曲線)とは??

故障した機械を放っておくと?

4. メンテナンスにおける負のスパイラル

5. 当社のご提案①～③

ご提案いたします

6. 高千穂グループ営業方針

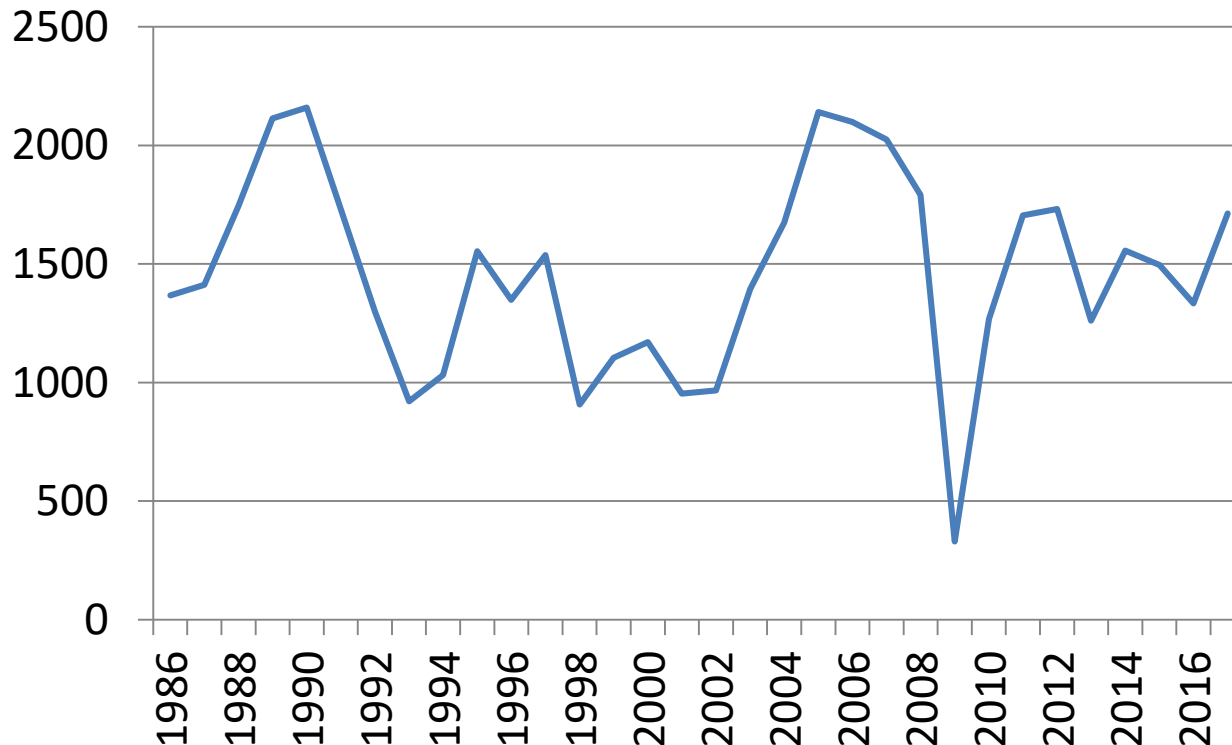
弊社の営業方針です

日本のプレス機械の販売実績

高度経済成長期からバブル期までの安定成長期にかけてプレス機械は各メーカーにおいて量産体制をとり、汎用機ではピーク時で月産150台でライン製造・販売しているメーカーもあった。

世の中に活躍しているプレス機は台数でいうと特に1980年代後半から1990年代前半のものが多いと言えます。

日鍛工 過去のプレス機械販売実績(単位:億円)



日本のプレス機メーカーのサービスの現状

近年はグローバル化が進み国内は量産期から成熟期に入りメーカーのエース級な人員は海外勤務・経験豊富な団塊世代は定年退職・独立職人は徐々に引退・メーカー拠点の統廃合・育つ労働環境の変化・若い世代とのジェネレーションギャップで客先の勝手知ったる人員、特にサービスマンが不足している状況にもかかわらず機械の故障率曲線はどんどん上っていく傾向が見られます。



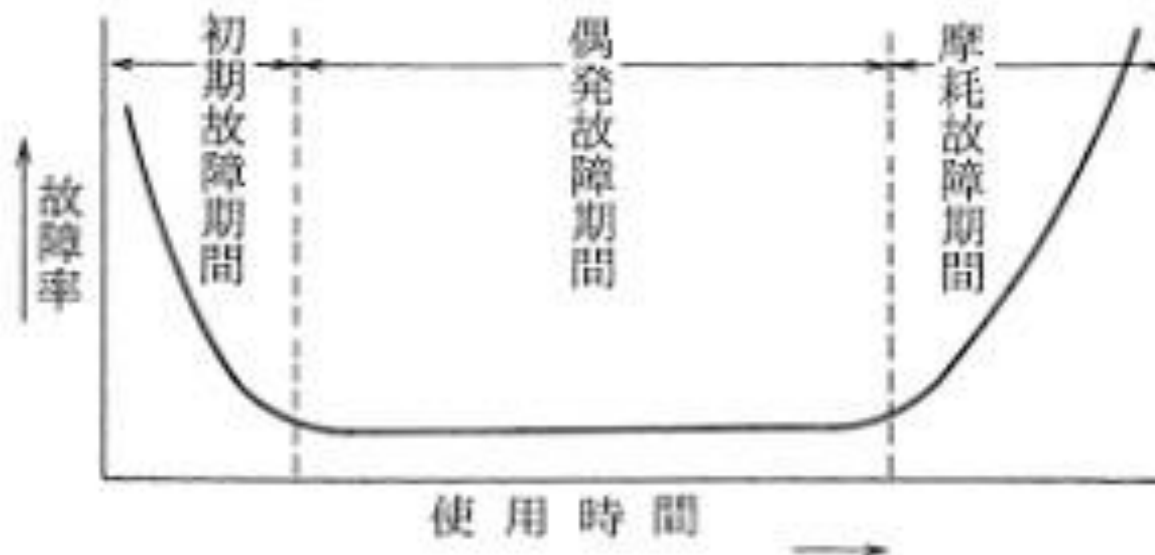
故障率曲線(バスタブ曲線)とは??

故障率曲線とは、機械や装置の時間経過に伴う故障率の変化を表示した曲線のことを言います。

その形からバスタブ曲線と呼ばれて、時間の経過により初期故障期、偶発故障期、摩耗故障期の3つに分けられます。

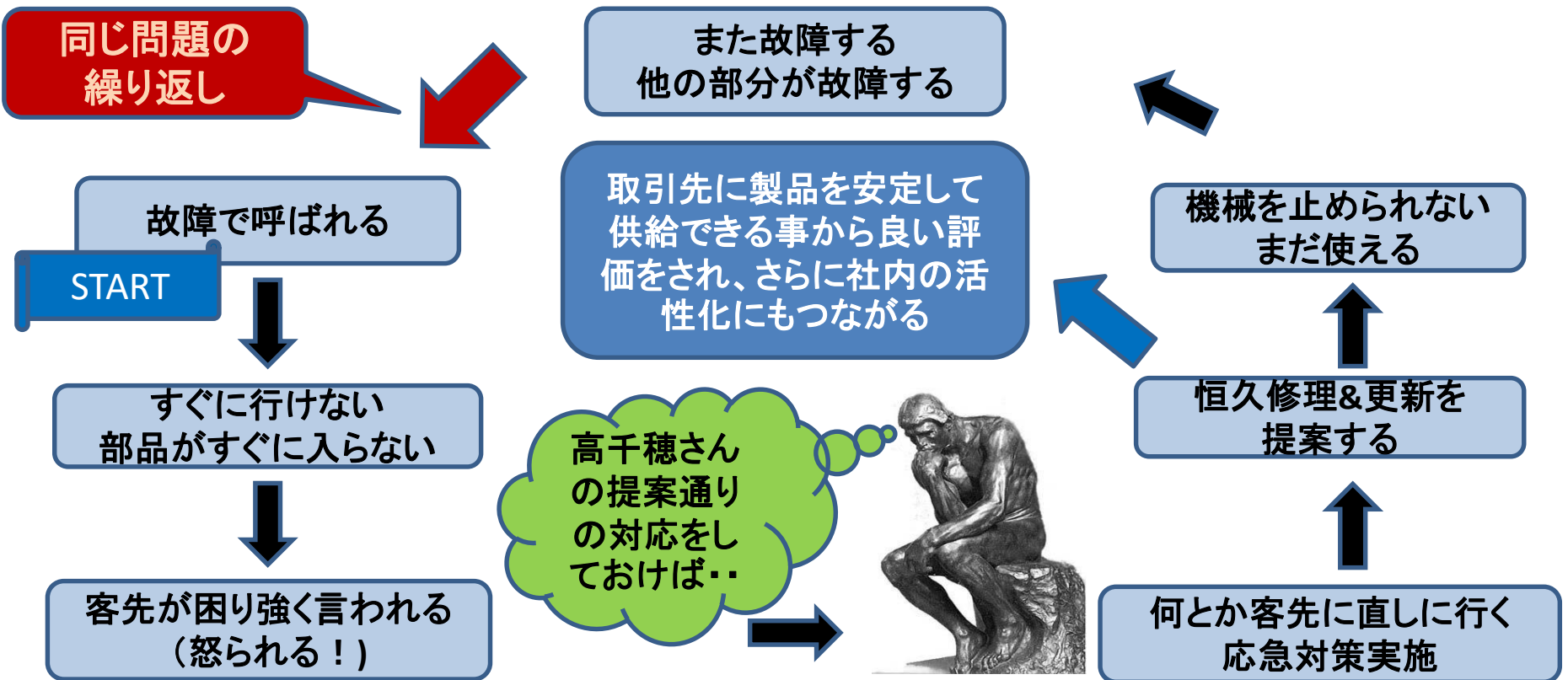
30年近く経過した機械はすでに摩耗故障期に入っています。

(現在のプレス機械の耐用年数は10年)



メンテナンスにおける負のスパイラル

この傾向はリーマンショック・中小企業を巻き込んだ海外移転・東日本大震災を経て、景気が回復傾向にあるここ数年で顕著に表れ始めており、設備に対するマインド・潮目の変化が負のスパイラルを発生させています。



当社のご提案①

昨今の状況は今後も増えてくることが安易に予想されます。
まずはより生産性の高い新規設備と当社リビルト中古機での更新を
両建てでご提案させていただきます。
(耐用年数が過ぎたリビルト中古機は2年償却が可能。)



新規設備(更新)



現在ご使用のプレス機



リビルト中古機(更新)

当社のご提案②

新規更新、リビルト更新でも生産性が出にくいプレス工程、新規の納入が長納期な場合、当社工場での預かり整備(改造)を提案します。
たとえば計画的に年に1台ずつ整備を実施していくことも有効です。
(整備費用は修繕費として計上。決算対策にも。)



現在ご使用のプレス機



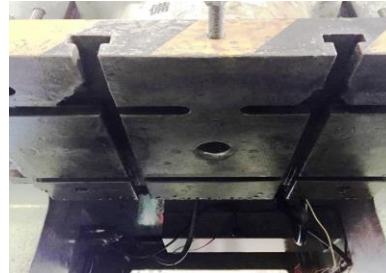
C & B解体整備



モーター解体整備



スライド解体整備



T溝補修・面引き



ほぼ新品同様に整備し、
お客様にて再度稼動開始

当社のご提案 ③

せっかくお客様が苦勞して購入・償却し、機械として資産価値のあるアイダ製汎用プレス機を中古機リビルト事業で培った整備ノウハウを駆使し、蘇らせた。

(整備した機械をお客様の海外含む他拠点に移管も可能です)

せっかく苦勞して買ったプレス機なのにな。。



北米工場へ移管

輸出のお手伝いもお任せください



お客様国内工場にてご使用



預かり整備実施



インドネシア工場へ移管

高千穂グループ営業方針

- 常に小回りのきく営業体制を維持し、お客様と共に発展していきます。
- お客様の金型を含む成型システムをトータルで構築します。
- お客様が競合他社に負けない付加価値・生産性・エネルギー効率の高い設備導入をすべてバックアップします。
- 設備導入後のアフターサービスも予防保全からあらゆるメンテナンスに対応し、設備寿命の延長、稼働率の工場を目指します。
- お客様の国内・海外拠点、問わず柔軟に対応いたします。

何なりと
ご相談ください



ご清聴ありがとうございました

